

沙流川

保護者向け校長通信

NO. 5

発行日

令和5年 6月30日

「学校経営について」Part 4

前々号で、重点目標達成に向けた「4つのアプローチの視点」についてご説明いたしました。今回は、重点目標達成に向けた「改善プラン」についてご説明します。改善プランとは、「計画→実施→評価→振り返り」を短いスパンで繰り返しながら充実を図っていくことです。今年度、重点的とする改善プランは、大きく4つ示しています。「**確かな学力**」「**豊かな心**」「**生活習慣**」「**働き方改革**」です。それぞれの項目に関する具体的な内容については、以下の通りです。

【確かな学力】

富小だけではなく、管内の課題でもある「学力の向上」に向けた取組です。基本的な抑えとしては、「その学年で身につけなければならない指導内容を確実に身につけるための手立て」と捉えていただきたいと思います。

◇基礎・基本の確実な定着

○家庭学習の習慣化 ○学習のきまりの定着 ○放課後補充学習の充実

◇主体的・対話的で深い学びの充実

○「富小スタイル」の授業の徹底 ○プログラミング的思考の育成

【豊かな心】

今年度は、全校スローガンにも掲げている「**がんばろう勉強 身につけようあいさつ・へんじ ぽかぽか言葉**」を基に、「**よりよい人間関係の育成**」を重点に、「相手意識を持った言動を確実に身につけるための手立て」と捉えていただきたいと思います。

◇あいさつの向上

○「あいさつ・返事・ぽかぽか言葉」の徹底

◇学級経営等の充実

○道徳科の授業の充実 ○支持的風土に満ちた学級づくり

◇特別支援教育の充実

○ケース会議及び支援員との連携 ○関係機関との連携

◇連携教育の充実

○幼・小・中・高の連携の推進

【生活習慣】

重点になるのは、**基本的な生活習慣**を身につけることにより、**心と体のバランスをとり、教育活動に安心・安全に取り組むための手立て**と捉えていただきたいと思います。

◇望ましい食・生活習慣の育成

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着
- メディアリテラシー
- 情報モラルの向上

◇危機管理能力の育成

- 交通安全指導の充実
- 自ら危険を予測し、回避する力の育成

◇体力の向上

- 1校1実践の推進
- 新体力テストの全学年実施
- 校内外の環境づくり

【働き方改革】

教職員の時間外勤務時間が、問題視されたことや、そのことから「教師の仕事はブラック！」というイメージが持たれ、教職を希望する人が減少したことなどにより、学校改革（働き方改革）が進められています。働き方改革の目的は、「教員の業務の効率化を進めることで、教育の質の向上を図り、すべての子どもに確かな力を見つけさせること」また、「教員の仕事以外の生活を豊かにすることで、心身ともに健康を保ち、誇りとやりがいを持って働くことができる環境整備を図ること」となっており、本校でも、この目的に合わせた業務の見直しに取り組んでいます。

◇校務改善の推進

- GIGAスクール構想と連動

◇働き方アクションプランの推進

- 定時退勤日（月2回）
- 在校時間の把握 他

ここに示した「改善プラン」は、前号でご説明させていただいた「4つのアプローチの視点」を取り入れた実践を積み重ねることで、重点目標達成を図っていきます。しかし、あくまでも今年度の重点として示した物（これだけは、みんなで意識して取り組む！）です。このほかにも、学年・学級の実態や子ども個人の状況等もあることから、**「目標達成に向けて必要とされる取組」**を示しています。例えば、「**学校運営協議会との連携**」や「**開校150周年記念事業に向けた取組**」「**いじめ調査結果等の分析**」「**読書活動の充実**」「**高学年がリーダーシップを発揮する各種活動**」など、子どもを主体とし、教師が生き生きと働くことができる職場づくりをすることで、未来を生き抜いていく子どもに確かな力を身につけさせて行きたいと考えております。昔から、「学校・家庭・地域の連携」が、学校づくりには欠かせないといわれています。社会は大きく変化しておりますが、子どもの育成を視点とした三者の強い連携が、変化している時代だからこそ必要だと感じています。開校150周年という歴史と伝統を基盤に、新しい富小の歴史と伝統を1年1年、みなさんの力を借りて創っていくよう努力していく所存です。どうぞ、よろしく申し上げます。